

スポーツ学部 スポーツ学科 カリキュラムフローチャート(2024年度以降入学生)

学部共通科目 学科共通科目 領域科目 セミナール科目 スポーツ実技科目 ◎: 必修科目 ●: 選択科目 [ ]: 単位数

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		最低修得単位数	卒業要件単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合共通科目	文化・芸術領域: ●ことばと日本文化[2]、●スポーツの文化[2]、●ことばと異文化[2]、●情報文化論[2] 歴史・社会領域: ●歴史と国際情勢[2]、●現代国家と法(日本国憲法)[2]、●暮らしと経済[2]、●人権・同和教育[2] 人間・環境領域: ●人間と哲学[2]、●生命と地球[2]、●心の科学[2]、●共生社会を生きる[2]								6単位以上 (各領域2単位以上)	30単位以上
言語・異文化理解科目	◎英語Ⅰ[1] ●中国語Ⅰ[1] ●韓国語Ⅰ[1] ◎英語Ⅱ[1] ●日本語表現Ⅰ[1] ●中国語Ⅱ[1] ●韓国語Ⅱ[1] ●英語コミュニケーションⅠ[1] ●実用英語Ⅰ ●日本語表現Ⅱ[1] ●中国語Ⅲ[1] ●実用中国語Ⅰ ●韓国語Ⅲ[1] ●実用韓国語Ⅰ ●英語コミュニケーションⅡ[1] ●日本語表現Ⅲ[1] ●中国語Ⅳ[1] ●韓国語Ⅳ[1]								6単位以上 (必修2単位)	
情報教育科目	◎データサイエンス入門[1] ◎情報処理演習Ⅰ[1] ●情報処理演習Ⅱ[1] ●情報処理演習Ⅲ[1]								2単位以上 (必修2単位)	
キャリア教育科目	◎キャリア基礎演習Ⅰ[1] ◎キャリア基礎演習Ⅱ[1] ◎キャリア基礎演習Ⅲ[1] ●インターンシップ(企業研修)[2] ◎キャリアデザインⅠ[1] ◎キャリアデザインⅡ[1] ●スキルアップ講座B(TOEICⅠ)[1] ●スキルアップ講座C(TOEICⅡ)[1] ●スキルアップ講座A(ITパスポート)[1] ●スキルアップ講座G(公務員養成Ⅰ)[1] ●スキルアップ講座R(TOEICⅢ)[1] ●スキルアップ講座H(公務員養成Ⅱ)[1] ●スキルアップ講座S(TOEICⅣ)[1]								5単位以上 (必修5単位)	
学部共通科目	◎解剖生理学[2] ●スポーツ運動学(運動方法学を含む。)[2] ◎スポーツ指導論[2] ◎スポーツ生理学[2] ●スポーツバイオメカニクス[2] ◎スポーツ社会学[2] ●スポーツ心理学[2] ●安全・健康管理[2] ●スポーツ栄養学[2] ●体カトレーニング論[2] ●レクリエーション論[2]								22単位以上 (必修8単位)	124単位
学科共通科目	●衛生学及び公衆衛生学[2] ●テーピング実習[1] ●健康フィットネス論[2] ●健康づくり運動理論[2] ●救急対応実習[1] ●トレーニング実習[1] ●体力測定評価法実習[1] ●健康づくり運動理論[2] ●救急対応実習[1] ●スポーツ統計学[2] ●運動生理学実験[2] ●スポーツ動作解析法[1] ●スポーツカウンセリング論[2] ●生活習慣病理論[2] ●発達発達老化論[2] ●スポーツの歴史と文化[2] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅱ(中・高)[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅲ(中・高)[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅳ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅴ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅵ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅶ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅷ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅷ[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅷ[1] ●健康産業施設実習[2] ●キャリアアドバンスJATI-ATI養成[1] ●スポーツワークショップ[2] ●健康産業施設実習[2] ●キャリアアドバンスJATI-ATI養成[1]									
専攻コース科目	アスリートマネジメントコース: ●アスリートマネジメント概論[2] ●コーチング各論A[2] ●トレーニング計画論[2] ●レジスタンストレーニング実習[1] ●コーチング各論B[2] ●コーチングシステム論[2] ●メンタルトレーニング演習[2] ●コーチング実習[1] ●スポーツコミュニケーション論[2] ●スポーツゲーム分析演習[2] ●アスリート栄養実習[2] スポーツ教育コース: ●スポーツ教育概論[2] ●社会体育論[2] ●ジュニアスポーツ論[2] ●学校体育のマネジメント[2] ●学校体育指導演習[2] ●学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)[2] ●ジュニアスポーツ指導演習[2] ●学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)[2] ●陸上競技指導法[1] ●球技指導法A[1] ●球技指導法B[1] ●武道指導法[1] ●学校保健指導演習[2] スポーツトレーナーコース: ●養護概説[2] ●予防医学[2] ●看護学Ⅰ[2] ●看護学Ⅱ[2] ●臨床医学[2] ●看護学実習Ⅰ[1] ●健康相談活動[2] ●栄養学(食品学を含む。)[2] ●精神保健[2] ●看護学実習Ⅱ[1] ●薬理学[2] ●臨床実習Ⅰ[2] ●臨床実習Ⅱ[1] ●アスレティックトレーナー概論[2] ●機能解剖学Ⅰ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅰ[2] ●コンディショニングⅠ[2] ●検査・測定と評価[2] ●機能解剖学Ⅱ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅱ[2] ●コンディショニングⅡ[2] ●コンディショニングⅢ[2] ●コンディショニングⅣ[2] ●リコンディショニングⅡ[2] ●リコンディショニングⅢ[2] ●スポーツ内科学[2] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅰ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅱ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅲ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅳ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅴ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅵ[1]								18単位以上 (所属コース)	
スポーツ政策コース	●スポーツ政策概論[2] ●スポーツ政策各論[2] ●スポーツ組織論[2] ●生涯スポーツ論[2] ●地域スポーツ政策演習[2] ●生涯学習と社会体育[2] ●生涯スポーツと社会体育の指導者[2] ●生涯スポーツと社会体育の経営[2] ●ポランティア活動と生涯スポーツ[2] ●地域スポーツ指導実習[1] ●スポーツ社会教育演習[2]								4単位以上	
ゼミナール科目	◎ゼミナールⅠ[2] ◎ゼミナールⅡ[2] ◎ゼミナールⅢ[2] ◎ゼミナールⅣ[2] ◎キャリア発展ゼミナール[4] 卒業研究の作成								必修12単位	
スポーツ実技科目	●体操(体づくり運動を含む。)[1] ●陸上競技A[1] ●バスケットボール[1] ●サッカー[1] ●器械運動[1] ●陸上競技B[1] ●水泳[1] ●バレーボール[1] ●バドミントン[1] ●ダンス[1] ●剣道[1] ●柔道[1] ●エアロビックダンス[1] ●ハンドボール[1] ●ラグビー[1] ●健康づくり運動実技[1] ●アクアエクササイズ[1] ●ソフトボール・野球[1] ●テニス[1] ●レクリエーション実技[1] ●キャンプ[1] ●マリンスポーツ[1] ●スノースポーツ[1]								4単位以上	
自由選択科目	教職課程関連科目、K-CIP関連科目、他学部・他学科等の科目								18単位以上	

卒業認定・学位授与の方針(DP)

スポーツ学科は、総合的な教養、スポーツ分野での多様な専門知識を身に付け、幅広い教養かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを目的とする。この基本理念のもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】  
学士(スポーツ学)として相応しい幅広い教養を身に付け、総合的なスポーツ指導・健康づくりの学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】  
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、礼節を重んじ高い力量をもつスポーツ指導者の素養を身に付け、地域社会の中で率先して行動できる力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】  
専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者との協働を通じ、積極的にボランティア活動等を実践し、社会貢献できる力を身に付けている。